



整理番号	HT28181	分野	医歯薬学	(キーワード):皮膚外用薬
------	---------	----	------	---------------

## 新潟薬科大学

「使いやすいくすり」ってどんなもの？「使いやすいくすり」ってどうやって決めるの？調べてみよう！

先生(代表者)	飯村 菜穂子(いいむら なほこ) 薬学部・准教授			
自己紹介	薬の有効成分を原末そのまま医療の現場で使うことはほとんどなく、様々な患者さんにあわせ、患者さんが飲みやすく、使いやすい「特別な形」(剤形:たとえば錠剤、カプセル剤、注射剤、軟膏剤など)にして使用されます。そのための技術について考える学問が製剤学です。現在、その領域において、患者さんが安心して使用でき、さらにあまり薬を使うことを負担に思わないような便利な薬をつくる技術の開発を行っています。そしてその新しい技術を使って新しい機能性をもつ医薬・化粧品材料の開発を行っています。			
開催日時・主な募集対象	平成 28 年 7 月 31 日(日)	(対象)	中学生・高校生	(人数) 30名
集合場所・時間	新潟薬科大学正面玄関入口		(集合時間)	10:30
開催会場	住所: 〒956-8603 新潟市秋葉区東島265-1 アクセスマップ: <a href="http://www.nupals.ac.jp/about/access.html">http://www.nupals.ac.jp/about/access.html</a>			
内 容				
<p>「薬」に対して先ず期待することは「良く効いて病気が治った！」という「効果」ではないでしょうか？我々は時として「効かない薬なんて役に立たない！」と思ってしまいがちです。だから薬は病気を治すために様々な研究を重ねて開発が進められます。では薬はただ「良く効く」ということだけが備わっていればいいのでしょうか？薬を使う人がお子様の場合、高齢者の場合と使う人のタイプは様々です。本当に「良い薬」とはそれをを使う人、個人にとって簡単に使いやすく、そして効く薬をいうのではないのでしょうか？とても使いにくく、感触が悪ければ本当に「良い薬」とはいえません。</p> <p>今回このプログラムでは薬をより使いやすく提供するために、薬の開発の中で欠かすことのできない実験について体験してもらおうと思います。実験では特に皮膚に作用する薬(皮膚への塗布剤など)が皮膚に適用される時の「のび感や粘度」について、特殊な装置を使って実際に測定してもらい、外用剤の使用感がどのように評価されているかを観察してもらおうと思います。</p>				
				

スケジュール		持ち物
10:00～10:30	受付(正面玄関入口集合)	筆記用具 タオル
10:30～10:50	開講式、オリエンテーション、スタッフ紹介、 スケジュール説明、科研費の説明、 「ひらめき☆ときめきサイエンス ～ようこそ大学の研究室へ」の説明	
10:50～11:00	休憩	特記事項
11:00～11:45	講義「くすりの形とその機能－製剤化サイエンス－」	
11:45～12:45	実施者及び大学生(実験協力者)と一緒に フリートーク(軽食)	
12:45～13:30	実験「さまざまな物質の粘度を測定してみよう」	
13:30～13:40	休憩	
13:40～15:00	実験「皮膚外用薬の塗りやすさ、硬さをはかってみよう」	
15:00～15:30	クッキータイム(実験データの解析と各グループでの実験結果を 眺めながら実施者、大学生との考察、意見交換、交流	
15:30～16:00	修了式(未来博士号授与、アンケート記入、記念撮影)	
16:15	終了・解散	

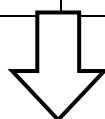
### 《お問合せ・お申込先》

所属・氏名：	新潟薬科大学教育連携推進センター
住所：	新潟市秋葉区東島265-1
TEL 番号：	0250-25-5000
FAX 番号：	0250-25-5021
E-mail：	edu@nupals.ac.jp
申込締切日：	平成28年7月15日(金)

※当プログラムは先着順にて受付を行います。

### 《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
飯村菜穂子	若手研究(B)	16750167	H16-18	界面活性剤を利用した安全性の高い安定な色素沈着治療薬の開発
飯村菜穂子	基盤研究(C)	19550187	H19-20	皮膚疾患治療、アンチエイジング効果をもつ薬剤開発とその経皮吸収促進
飯村菜穂子	基盤研究(C)	15K08861	H27-29	多剤併用に伴う製剤的物性変化と薬剤の適正使用に関する研究



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。